

はじめに

東北地域は、耕地面積が北海道に次いで多く、米をはじめに野菜、果実、畜産の産出額が大きくなっており、我が国の食料供給基地として重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、Uターンを中心に新規就農者数が増加傾向にあるほか、女性による起業活動が年々増加してきているなど、明るい状況も見られてきておりますが、農家数や農家人口の減少、高齢化の進行、耕作放棄地の増加など、農業構造のぜい弱化が進行しています。

このため平成16年度からの「米政策改革」、17年3月に決定した新たな「食料・農業・農村基本計画」に沿って農政改革に取り組んできております。

特に品目横断的経営安定対策の加入対象となる担い手の育成・確保、食料自給率向上は最重要課題となっております。

このような動きを踏まえまして、「東北の食料・農業・農村情勢報告」では、第1部「動向」として東北食料・農業・農村の動向として、東北地域の農業生産、農地・農業経営などの動向を統計データに基づいて整理したほか、農業者の特徴的な取組などの事例を随所に盛り込み編集いたしました。第2部「特集」として、転作作業受託を中心とする組織から品目横断的経営安定対策の対象として、育成が必要な東北の集落営農の概要について取りまとめました。

本報告が、東北地域の食料・農業・農村の現状と課題について、御理解いただく一助となれば幸いです。

最後に、本報告の取りまとめにあたり、御協力頂いた方々に厚く感謝申し上げます。

平成18年7月

東北農政局長 平野 昭